（様式１）

令和２年度運動好きな子どもを育てるための地域連携事業

【 年間型 ・ 短期型 ・ イベント型 】 企画提案書

　団体名

　代表者職氏名 　　　　(担当者： )

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(電　話： )

　プログラム名 　　　　　(E-mail： )

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 運営会議の構成 | 氏　名 | 役　職 | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 事業のねらい | 子どもたちの実態と課題について |
|  |
| 事業内容 |  |
| 事業実施の工夫 | 子どもが楽しいと感じる「場・しかけ」について |
|  |
| 今後のビジョンや継続していくための工夫について |
|  |
| “地域ぐるみ”の取組を行うための工夫について |
|  |
| 添付資料 | □活動内容及び方法（別紙）　　　□予算書（様式２）□団体規約　　　　　　　　　　　□組織表（役員表） |

（様式１）

**記入例**

令和２年度運動好きな子どもを育てるための地域連携事業

【年間型】 企画提案書

**子どもたちが楽しみにするようなタイトル**

　団体名　　　○○地区こども会

　代表者職氏名　　会長　　島根　一郎　　　　　　　　　　(担当者： )

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(電　話： )

　プログラム名　　親子わくわくプログラム　　　　　　　　　(E-mail： )

**事業を開催するうえで、地域、学校、関係団体と連携が取れるような構成メンバー**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 運営会議の構成 | 氏　名 | 役職 | 備考 |
| 島根　一郎 | 会長 | 受託団体の長 |
| 安来　もとこ | 委員 | 放課後子ども教室の代表者 |
| 松江　京子 | 委員 | 児童クラブの代表者 |
| 出雲　富士子 | 委員 | おやじクラブの代表者 |
| 大田　三平 | 委員 | スポーツ推進委員の代表 |
| 浜田　みなと | 事務局 | 受託団体事務局 |
| 事業のねらい | 子どもたちの実態と課題について |
| 普段の遊びがゲーム中心で、たむろして遊ぶ姿が見られない。もちろん伝承遊びをほとんど知らない（親も同様）。このような現状をふまえ、スポーツ推進委員やレクリエーション協会の力も借りながら、親も巻き込んだ体を動かして遊ぶプログラムを提供し、地域ぐるみで運動好きな子どもを育てていく。 |
| 事業内容 | 地域の協力団体等と連携し、「親子わくわく教室」を年１５回実施する。**子どもの現状（具体的に）から、この活動の必要性がわかるように！** |
| 事業実施の工夫 | 子どもが楽しいと感じる「場・しかけ」について |
| ・自由な雰囲気で遊びをリードしていく。・子どものやりたい！を大切に、プログラムにとらわれることなく、時間いっぱい大人も本気になって体を動かす。**三間（時間・空間・仲間）を意識して「場・しかけ」の具体を！**・○○公園にある物や身近にある物を使って、子どもの日常の遊びにつなげていけるようにする。 |
| 今後のビジョンや継続していくための工夫について |
| ○○公園を拠点にして、子どもだけでなく誰でも楽しく集える場所にしていきたい。子どもの運動遊びはもとより、大人も一緒になって運動できるプログラムをスポーツ推進委員やレクリエーション協会の力をかりて行いたい。最終的には子どもたちだけで遊べるようにしていきたい。そのためには、安心して遊べる場の確保が必要となる。○○公園が子どもたちにとって安心して遊べる場となるよう、有志の親子を集めての公園の清掃活動をするなど近隣住民の理解を得られるようにする。**次年度以降、どのような取組みをしていこうと考えているか、ビジョンを！** |
| “地域ぐるみ”の取組を行うための工夫について |
| “安心して子育てができる○○地区”をキャッチフレーズに自治会や町づくりの団体、寿会等にもプログラムに参加してもらいながら、広く理解が得られるようにする。**どのように“地域ぐるみ”の活動につなげていけるか** |
| 添付資料 | □活動内容及び方法（別紙）　　　□予算書（様式２）　□団体規約　　　　　　　　　　　□組織表（役員表） |